



成城の風



発行者：青少年成城地区委員会 会長 黒崎 真由美/ 事務局：成城まちづくりセンター



子どもたちと共に地域に生きる



青少年成城地区委員会は約50名の大人たちが集まり、子どもたちが地域で健やかに成長できるように様々な事業を行っています。赤いエプロンは私たちの目印。子どもたちの笑顔や明るい挨拶が、私たちの活動の原動力です。

第24回せいじょう地域文化祭

2024.12.14

「せいじょう地域文化祭」は、地域との交流を深めるため、子どもと大人が一緒になって作り上げるお祭りです。今年度はステージ発表、ゲームや工作ができるキッズコーナー、コロナ禍で中止していた模擬店の復活、地域団体のPRコーナーなどで盛り上がりました。

ステージ発表



TURRMD



砧中学校ダンス部



成城メナーコール



明正小学校合唱団



まいすた成城



Seijo Let's



明正小HAPPY☆エイサーズ



千歳中STEP

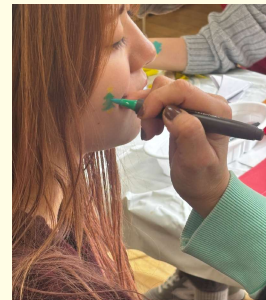


砧中学校吹奏楽部

幼児から大人まで様々なジャンルの9団体ステージ発表を、中高生ボランティア『Seijo Let's』のメンバーが支えてくれました。今年は土曜授業後の開催で中学生スタッフはリハーサルなしの本番でしたが、司会、照明、音響、舞台袖と大活躍でした。大学生や社会人のLet's先輩も駆けつけてくれて、支援職員さんと我々委員と力を合わせ、子どもたちの笑顔はじけるステージをお届けでき、感謝の気持ちでいっぱいです。(土井委員)

キッズコーナー

中学生からの意見「射的やりたい！」から始まった準備。くるみボタンの髪飾り、フェイスペイントを合わせた3ブースを、中学生ボランティア4名を含む、約30名が力を合わせ運営しました。成城ホール前の模擬店がコロナ禍以降の復活となったおかげもあり、当日は予想以上の多くのお客さんで大賑わいのキッズコーナー。ボランティアの皆さんも忙しいながらもやりがいを感じてくれたようでした。来年もお楽しみに！（林委員）



模擬店

美味しいと言っていただけの喜び、模擬店を開ける喜びを感じながら、綿飴、お麴のラスク、スープ、フランクフルトを、子どもと大人、皆で協力して販売しました。お客様との交流も楽しみ、笑顔と笑い声あふれる素敵な時間となりました。（寺山委員）



会場

今年度のテーマは“W I S H”！お越しいただいた皆様が楽しめる空間になるようお願いを込めてクリスマスモチーフに装飾しました。大きな風船ツリーや雪の結晶をモチーフにしたオーナメントを飾り、大天使、聖母マリア、聖ヨセフに扮した3名を探すスタンプラリーを行い、クリスマス“W I S H”を表現しました。（末廣委員）



明正小まつり

2024.10.19

初めてお手伝いに伺いました。とても大掛かりなお祭りで、子どもたちの楽しそうな笑顔が印象的でした。同時に、この準備のために保護者や地域の方々がどれだけの時間と労力を費やしたのだろうかと思うと、頭が下がりました。子どもたちにとって、よい思い出の日になるといいなと思いました。（中島委員）



ちいきこどもまつり

2024.11.10

少し肌寒い日だったためか、我ら地区委員の「ワカメスープ」は大好評で、おかわりも続出。笑顔がたくさんで楽しい1日となりました。小学生が出しているお店に、普段児童館を利用している小さいお子さんとお両親が遊びにきたり、成城さくら児童館で育った高校生、大学生のお店もあったりと、幅広い世代が同じ場所で楽しんでいる素敵なお祭り。来年も楽しみにしています！（林委員）



委員研修

2025.2.21

多くの人がコロナ禍で家族のつながりや周りの人との関係について悩んだり考えたりしたことと思います。アフターコロナへ社会が元へ戻っていくようで悩みやもやもやしたものを持ったままの部分もありました。自分が様々な考えを受け入れやすくするヒントが講演の中にたくさんありました。（城戸委員）

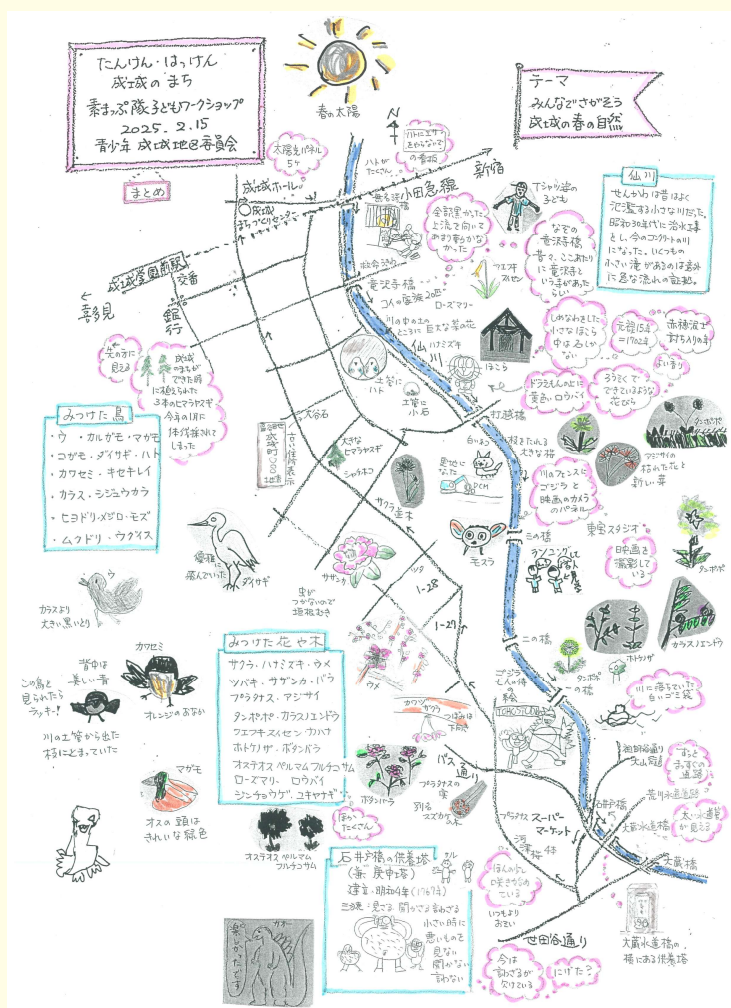


10月20日(日)たくさんの児童たちが、千歳小学校に集まりました。「集まれ!自然たんけん隊!!」を本年も実施しました。どんぐりを拾い、きつつきの穴を見て、昔ながらのあそびを楽しんだり。専門家の方々のやさしく語りかける説明は、自然の中で心地よく児童たちの心に残る、思い出の一頁となったことでしょう。(相賀委員)



来まっぶ隊

2025.2.15



今年のテーマは『成城の春をさがそう』、主に仙川沿いを歩いての春探し。仲良しのつがいのカモや、エサをとるカワセミ、今年もたくさんの花を咲かせてくれそうな桜のつぼみも少しずつ膨らみ始めていました。暖かい日差しの中、参加してくれた小学生達が半袖になっている姿にも、春を感じた1日でした。(林委員)



楽しく活動していますので、参加してみたい方はぜひご連絡ください!

【問い合わせ先】世田谷区 成城まちづくりセンター

〈平日8:30~17:00〉

TEL : 03-3482-1348 FAX : 03-3482-7208

※無断複写・転載を禁じます

青少年成城地区委員会のHPです
活動内容公開中です!



先生紹介 & ミニインタビュー

日頃、学校のためにお忙しい中、校長先生にあらかじめアンケートをお願いし、快く回答していただき後日写真撮影とインタビューも時間を作っていただき、こちらも楽しく取材させていただきました。



砧中学校
加藤 敏久先生

① 落ち着いた雰囲気で、とても良い印象でした。区内の中学校から赴任しましたので、授業も行事も部活動も、それまで校長会などで聞いていたイメージ通りで、すべてに一生懸命に取り組む学校だなと感じました。また、生徒たちが礼儀正しく、素直で、家庭や地域の愛情を感じました。一方で、もう少し多様な考えを表現できたらもっと良いなと思ったこともあります。赴任した年度の3年生は詰襟、紺スカートの最後の学年で、1、2年生は今のブレザーでした。歴史の切り替わりを感じました。

② 以前、砧中学校のホームページにも書いたのですが、私は「修学旅行」が一番好きです。修学旅行に毎年引率できるので、校長を目指したといっても過言ではありません。学校を離れて旅を楽しむことは、きわめて大きな体験です。学校では見ることのできない笑顔や解放感いっぱいの表情が眩しいですね。教員たちとの絆が日に日に深まっていくのも大変うれしいです。また、京都や奈良の文化財に生徒と一緒に触れることができるのも毎年楽しみです。

③ 生徒たちは、自分の進路やキャリアについてよく考えています。保護者の皆さんの姿から、Society5.0の時代のICTや外国語のスキルを生かし、例えばIoT、金融、医療、法制などに夢を見出し、よく努力している様子がとてもよいです。未来の可能性を感じます。また、自然にボランティアに参加する生徒が多いことも素晴らしいです。誰かのために、地域のために、お世話になった小学校のために、感謝の気持ちを持ってボランティアに取り組んでいます。そして、生徒会を中心に、生徒の投票によってネクタイ、リボンを選んだことなど、生徒の意見が学校に反映される今の状態は、すごく良いと思います。



明正小学校
粟林 大輔先生

① 一番はじめは、挨拶をしても声が小さく、元気がないなと感じました。でも、一緒に話したり、教室の様子を見たりすると、とても素直な子たちだと分かりました。友達や先生たちと一緒に笑ったり、喜んだり、驚いたりする姿がたくさん見られ、心がきれいな子どもたちだと思っています。

② 「運動会」です。明正小では、4年生は「エイサー」パーランクーの力強い音が響きます。5年生は「ソーラン節」迫力のある声と動きに圧倒されます。6年生の団体演技では、動きをそろえ、全員の心を一つにしようと取り組む姿に感動します。また、その姿を見る低学年の子どもたちの「私もこうなりたい」という羨望の眼差しも素敵です。毎年たくさんのドラマがあり、大好きです。

③ 子どもたちがいろいろなことに一生懸命に取り組むことです。特に、明正小の特色の一つでもある「縦割り班活動」では、6年生を中心にどのような活動をするかを話し合って進めます。低学年の子たちが危なくないように、中学年の子たちも楽しめるように、そして自分たち高学年も達成感をもてるようにと、友達と意見を戦わせ、他の班と情報交換しながら、いつもよりよいものを目指しています。多様性を大切にしたり自分のよさを知ったりする大切な時間です。



●質問●

- ①赴任時の学校の第一印象を教えてください。
- ②校長先生の一番好きな行事を教えてください。
- ③学校のアピールポイントを教えてください。



千歳中学校

和田 祐一郎先生



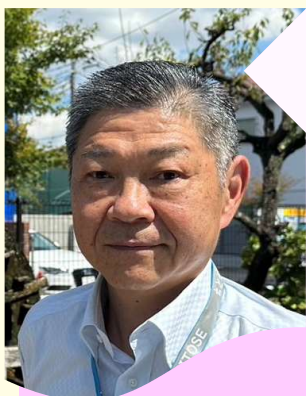
① 昨年度は、世田谷区の公立中学校で一番生徒数の多い学校でした。着任式の時に、700名を超える生徒が、先生の指示を受けることなく自主的に式の開始に合わせて全員が静かになり着任式が始まりました。場面を考え行動できる生徒がたくさんいる学校だと感じました。そして、とても素晴らしい学校に着任できたのだと感じました。本校の学校生活の基本ルールである「禪」(た・す・き)◇大切にする ◇素直・正直 ◇気づくを実践させ「安全・安心・安定した学校」にすること。温かい学級づくりに向け、教職員一同日々取り組んでいるところも素晴らしいと思いました。

② 1つ目は運動会です。個人の頑張りが見られる種目。2人組で力を合わせる種目。クラスリレー、チームジャンプでは、まさにクラスが丸となりみんなの力で団結力を高めていかなければ、取り組めない種目で懸命に躍動する姿や懸命にクラスメイトに応援を送る姿を見ることができました。2つ目は学芸発表会です。準備期間は、校舎内が歌であふれかえります。各クラスの実行委員や指揮者、伴奏者そしてパートリーダーが中心となり、良い点や悪い点を分析し、生徒が主体的に取り組む場面が多く見られました。生徒の力は計り知れず、日に日に上達する様を、見ることができました。3学期には学年全員で歌う学年合唱があります。200名を超えた生徒が一つの歌を歌いあげる行事も大迫力で素晴らしいです。

③ 本校の学校生活の基本ルールである「禪」(た・す・き)というルールは生徒会の生徒が、千歳中が良くなるために必要なことは何か、ということで考え出しました。その意思をしっかりと受け継ぎ、生徒の主体的な活動が盛んになるよう、生徒会を中心に朝の挨拶運動など様々な活動を進めています。また、多彩な部活動も盛んです。運動部は10、文化部は6の部活動があり、生徒の興味に応じて、異なる学年の生徒が楽しく、ある時は真剣に活動に取り組んでいます。英語スピーキングテストでは、セファールA1を獲得した生徒が96.3%という結果が出るなど、学習面でも生徒、教員共にICTを活用しながら、自ら考える力を育てています。

千歳小学校

石川 淳先生



① 以前が中規模の小学校だったため、千歳小は児童数、学級数が多いと感じましたが、住宅街に位置し、正門に水車がまわっていて穏やかな印象でした。

② 運動会です。全校で取り組む一年のうちで最も大規模な行事だからです。お弁当無し、午前中だけの開催ですが、短距離走を団体戦の競技にして時間短縮をはかり、保護者の方々の場所取りの手間も省けて良かった点もありました。今年から4年生以上による応援団を復活。各競技盛り上がりを見せました。特に6年生は下級生からの憧れの存在であったようで、それに応えようと最上級生としての自覚が芽生えたようです。

③ 千歳小が初任の教職員が3分の1と、若い先生が多く、その若い先生方とベテランの先生方の歯車がうまく噛み合っていると感じています。「児童が明日も来なくなる学校」に向けて良さそうなことには積極的にトライしようと活気に溢れており、児童もそのような教職員の投げかけに積極的に乗っていけるところです。教職員と上祖師谷ぱる児童館職員さんとのバレーボール大会、ソフトテニスの活動にも参加したり、地域との連携も大切にしています。